

## 令和3年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和3年6月15日（火）午後7時～8時30分

場 所：地域交流センターともべ「トモア」

出席者：8名

### 《予算説明後の意見交換》

- 1 保育所給食での米飯提供について
- 2 地域の治安について
- 3 自治体の医療費負担について
- 4 デジタル化における笠間市の考えについて
- 5 自然エネルギーについて
- 6 大阪万博の参加について
- 7 モノタロウ脇道路の工事について
- 8 企業誘致における市内の波及効果について
- 9 下水道料金の改定について
- 10 道の駅かさまの価格設定について
- 11 デヴィ夫人の茨城県 PR について
- 12 モノタロウ周辺の交通渋滞の改善について
- 13 おくやみ窓口の設置について

- 1 保育所給食での米飯提供について

#### 【意見等】

小学三年生、年長、年少、1歳の子どもがいる。保育所給食でおかずは温かいものが提供されるが、米飯は持参のため冷めているものとなる。せっかく田んぼが広がる土地なので、温かいご飯を提供してほしい。

#### 【回答】

温かいご飯を施設で提供するためには、設備等の調整が必要となるためすぐに回答はできないが、検討したい。

- 2 地域の治安について

#### 【意見等】

伊豆大島から転入してきた。集団で登下校しているが、以前住んでいたところと比べて笠間市は治安が悪いように感じる。

連れ去りや溜池での死亡、地域の人に写真を撮られるということがあったと聞いた。子どもたちが安心して暮らせる地域であってほしい。

**【回答】**

市では、子どもたちの安全を守るため、地域の方の見守りや、青パトカーによるパトロールなどが行われている。また、不審者が出た際には、かさめ〜るで情報を発信し、注意喚起をしている。

3 自治体の医療費負担について

**【意見等】**

前住所地では、自治体が負担してくれていた。笠間市では補助はあるが毎回医療費を負担している。安心して通院ができるようにしてほしい。

**【回答】**

お子さんの医療費助成については、一旦自己負担金を払ってもらうこととなるが、笠間市では、小学生までの自己負担金の償還、また高校生までの医療費助成の拡大をしている。県内の自治体と比べても、笠間市は保護者に医療費負担がかからないような体制を保っている。

4 デジタル化における笠間市の考えについて

**【意見等】**

国ではデジタル庁が発足する。笠間市におけるデジタル化への考えを伺いたい。

**【回答】**

デジタル化に対する国からの指示はまだ出されていない。市が策定したデジタル化に関する計画は、「いま市ができることをやる」という意思で昨年からはスタートさせたもの。今後、国から方向性が示されれば、市の計画も国の考えに沿った内容に見直すことが必要となる。

今後デジタル化は避けて通れない道となる。新型コロナワクチン接種の予約についても、高齢者には Web 予約が困難という実状があるが、今後は、スマートフォンが生活の基本と考えている。「スマートフォンを使えない」と投げ出してしまうと、行政サービスが行き届かなくなってしまう。スマートフォンを使った行政サービスの受け方を、携帯会社などとタイアップして繰り返し説明していくことが必要と考える。

5 自然エネルギーについて

**【意見等】**

地域交流センターともべ「トモア」は地中熱を活用した施設であるが、効果はどれほどのものか。

東京では自然エネルギーに関する設備投資に補助金を出しているという話を聞いた。笠間市でも検討してはどうか。

**【回答】**

空調管理に必要なエネルギーのうち、平均で年間約 12%（平成 29 年度～令和 2 年度）を地中熱のエネルギーで補っている。

環境問題は行政だけではなく民間にも関わる問題。公共施設に限らず、施設を作るうえでも環境への配慮を念頭に置く必要がある。市町村においても、住民が住宅を建てる際に環境へ配慮した設備を取り入れる場合には補助をするといった取り組みなどを行うことで環境に優しいまちが広まり、環境負荷ゼロの実現につながるのではないかと思う。

また、国では、低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げ、先駆的な取り組みを行っている自治体を、「環境モデル都市」（内閣府で選定、茨城県ではつくば市）として選定している。更に、2030年度までにCO2排出量を実質ゼロとする脱炭素先行地域づくり（環境省で選定、全国で少なくとも100か所）を進めており、選定されるかは分からないが、笠間市もぜひ手を挙げたい。

※参考：地中熱の仕組みや効果をまとめた資料を、地域交流センターともべに新たに掲示しました。ご利用の際にはぜひご覧ください。

## 6 大阪万博の参加について

### 【意見等】

東京オリンピック後、大阪万博が控えている。大阪万博は“健康万博”とも言われている中で、健康都市を宣言している笠間市も万博に向けて何か取り組んでみてはどうか。

### 【回答】

コロナ禍ということもあり、大阪万博の内容がまだ見えてこないが、国を盛り上げていくイベントに市も関われる機会がある際には、検討していきたい。

## 7 モノタロウ脇道路の工事について

### 【意見等】

モノタロウ脇道路の道幅を広げる工事はいつ終わるのか。

### 【回答】

県道のため、県が工事を行っている。用地買収は市も協力し、すでに完了しているので、もう問もなく終了する予定。

## 8 企業誘致における市内の波及効果について

### 【意見等】

モノタロウができたことで市内の波及効果も出るかと思っていたところ、工場進出後も周辺に店は増えていない。市内スーパーなどの売り上げは向上しているのか。

### 【回答】

モノタロウを誘致する当時、昼食を買うコンビニなどが欲しいという要望があったが、調査の結果設置に至らなかった。しかし、地域の雇用や、税金、モノタロウの影響による地域全体の賃金アップなど、さまざまな波及効果が出ている。

## 9 下水道料金の改定について

**【意見等】**

みなみ学園義務教育学校・旧南小校舎へ私立通信高校を誘致するうえで、市が費用の一部を負担すると聞いた。他の企業誘致も含め、負担をしても、その後収益につながるのなら良いことだと思う。工業団地の企業誘致もうまくいっていると聞いたため、その分市民の費用負担を押しえられるのではないかと思った。下水道料金やゴミ袋の料金の改定は、先の収益を見据えたうえで一度踏みとどまってもいいのでは。公共料金が上がると、“笠間市は料金が高いまち”というイメージが付き、新しい人が引っ越してこなくなってしまうのではないか。

**【回答】**

企業誘致で市が補助金を出しても、その後の税収で負担した分を回収でき、さまざまな波及効果が生まれる。

高校の設置については、回収が一番の目的にするのではなく、人材の育成に重きを置いている。子どもが少なくなっている今、しっかりとした教育を受けさせたいという親のニーズが高まっている。市でも、教育を受けさせるうえで、さまざまな選択ができる環境を作ることが必要だと考えている。教育環境を充実させることで、将来活躍できる人材の育成につなげていきたい。

下水道料金やゴミ袋の料金負担については、子どもたちの世代が将来背負う負担を、できるだけ軽減できるよう今の世代も一定の負担をしていくことが必要だと考えている。しかし、追求しすぎることによって負担が膨れ上がることがないようにバランスを取り、行政の説明責任を果たし、市民にも理解してもらいながら取り組んでいく。

10 道の駅かさまの価格設定について

**【意見等】**

立地の良い場所に道の駅ができることで、直売所の野菜などの価格がこれまでよりも高くなってしまっているのではないか。

**【回答】**

道の駅にできる直売所は、現在あるJA直売所「みどりの風」「めばえ」を統合してオープンするもの。売り場面積も拡大することに伴い、農家さんにはこれまでよりも多く、一定した量で出してもらう必要がある。価格を上げると買ってもらえなくなるということは十分理解しているので、価格設定は慎重に行っていく。

11 デヴィ夫人の茨城県 PR について

**【意見等】**

デヴィ夫人が茨城を PR しているが、デヴィ夫人と茨城県の関わりはどういったものか。

**【回答】**

デヴィ夫人が PR をしているのは、茨城県の広報事業のなかで行っているもの。そのため、デヴィ夫人と茨城県の関わりは分からないが、笠間市の ETOWA にも訪れ、PR をしてくれた。反響もあり、ありがたい機会であった。

12 モノタロウ周辺の交通渋滞の改善について

**【意見等】**

モノタロウ周辺の道路が夕方混み合い、なかなか右折ができない。改善できないか。

**【回答】**

出勤・退勤時間に合わせて混み合っているのは事実。工業団地に他の企業が入る時に合わせて、渋滞の解消を課題としていく。

13 おくやみ窓口の設置について

**【意見等】**

おくやみ窓口の設置は笠間市では考えていないのか。

**【回答】**

笠間市役所本所のリニューアルの際、窓口の並びを見直し、導線の中でスムーズに手続きができるつくりとしたため、おくやみ窓口は必要ないと考えている。